

事業効果

都市計画道路 千里丘三島線

事業名	大項目 (事業共通)	小項目	効果の指標等	具体的な効果等	受益者	備考 (地域の状況等)
道路事業 街路事業	費用便益分析					
	活力 安全・安心	<ul style="list-style-type: none"> ・走行時間の短縮 ・走行経費の軽減 ・交通事故の減少 	費用便益比(B/C)	4.4 (総便益=363億円 総費用=83億円) 街路事業における費用便益分析マニュアル(案)、(建設省都市局街路課作成)により算出	利用者 歩行者	
	定性的評価等					
	安全・安心	<ul style="list-style-type: none"> ・防災空間の確保 ・災害発生時の緊急輸送路、避難路の確保 ・救急活動、医療活動等の円滑化 	<ul style="list-style-type: none"> ・不燃領域率の向上 ・延焼防止率の向上 ・避難圏域の拡大(面積) 	不燃領域率の向上により、地区の延焼の危険性が低下 0.3ha(道路拡幅面積)/5ha=6%向上 幅員16m以上のため延焼防止効果が期待できる 現況5.5~10m⇒18.5~31mに拡幅されるため 災害時の避難路(W=16m以上)となる 計画道路周辺一帯の渋滞が緩和され、円滑かつ広域的な救急、医療活動が可能となる(千里丘中央病院、消防署千里丘出張所等)	周辺住民	府は千里丘西地区(5ha)を災害に強いすまいとまちづくり促進地域に指定(H9.3.24指定)しており、千里丘三島線を区域内の基盤整備事業として位置づけている 現状不燃領域率 19.9%
	活力	<ul style="list-style-type: none"> ・輸送効率の向上 ・工場立地、住宅開発などの地域開発の誘導 ・沿道土地利用の促進(高度利用) ・地域間の交流・連携の強化 	<ul style="list-style-type: none"> ・旅行速度 ・交通混雑度の改善 	現況5.0km/h⇒改良後39.1km/h 現況3.8⇒改良後0.9 近接する吹田操車場跡地開発計画地の交通アクセスを向上 前面道路の拡幅により高度利用が促進される JRによる地域分断を改善(片側通行の解消) 歩行者動線の確保による東西両商店街の利用機会の増大	利用者 歩行者 周辺住民	
	快適性 (生活環境)	<ul style="list-style-type: none"> ・都市空間の創出 ・渋滞緩和 ・騒音、振動等沿道環境への影響 	・緑化延長、歩行空間の拡大	歩道(一般部)歩道なし⇒W=2.25mの両側歩道 歩道(地下道部)W=1.5m片側⇒W=3.25m両側 渋滞緩和により排ガスが減少、エネルギー消費効率の向上 沿道は駅前商業地域であり住環境への影響は少ない	周辺住民 利用者 歩行者	
	環境 (自然環境)	・生態系への影響		既成市街地のため、生態系に与える影響は微少		
	その他					